

「**村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画**」を見直しました

～現在の3保育所・4幼稚園・1認定こども園を、2保育所・1幼稚園・1認定こども園に再編します～

【問い合わせ】子育て支援課認定・給付担当(☎282-1711 内線1188)

村では、平成30年4月に村立保育所、幼稚園、認定こども園の今後のあり方と再編整備の方向性を示した「村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画」を策定し、次のとおり基本方針を定めました。

【再編整備に関する基本方針】

- 1 本村の将来にわたる就学前子どもの数の動向および高まる保育ニーズの両面を勘案し、適正な施設数および保育の量を確保するものとする。
- 2 新たな幼稚園教育要領、保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいた幼児教育および保育サービスの質を高める取り組みを行うものとする。
- 3 原則として建築後40年が経過した施設を再編整備の対象とする。
- 4 再編により新たに整備する施設は、基本的に教育認定および保育認定の各利用定員を設ける幼保連携型または幼稚園型の認定こども園とする。
- 5 民間事業者との均衡を図りながらその動向に配慮し、官民一体で待機児童の解消を図るとともに、将来において必要な保育の量を確保する。

見直しに当たって

昨今、全国的な少子化の進行や共働き世帯の増加、女性の就業率の高まりなどを背景に社会情勢が大きく変化しています。本村でも、出生数に起因した就学前児童数が減少傾向にある一方で、仕事と子育ての両立を求める子育て世代の保育ニーズは高まっています。また、村立幼稚園の園児数は、平成15年度以降減少傾向が続く中、今年度はピーク時の半数以下となっており、村松幼稚園以外の園ではここ数年、学年1クラスの学級編成となっています。

このように、本村における教育・保育の状況が大きく変化していることに加え、村立保育所・幼稚園舎は、半数以上が昭和40年代後半に建設され、建築後40年以上経過していることなどを踏まえ総合的に判断し、適正な集団規模の維持と幼児教育・保育サービスの質の向上を図るため、基本計画を見直すこととしました。

見直しの 方向性

1. 「幼保連携型認定こども園」の整備計画を改める
2. 3つの幼稚園を廃止して、段階的に村松幼稚園へ統合する
3. 舟石川保育所は、廃止に向けて段階的に受け入れを縮小する

〈現行の再編整備基本計画〉

- ▽舟石川保育所・舟石川幼稚園…統合して「幼保連携型認定こども園」へ移行。新たな用地を確保して令和5年度に施設を改築。
- ▽須和間幼稚園…計画策定から5年後を目途に改めて再編を検討。
- ▽石神幼稚園…幼稚園機能を維持。石神小学校の余裕教室を有効活用して令和4年度に移転。



〈見直し後の再編整備基本計画〉

- ▽舟石川保育所…当面の間存続。今後の待機児童や保育ニーズの状況等を勘案しながら、廃止に向けて段階的に受け入れを縮小。
- ▽舟石川幼稚園・須和間幼稚園…在園児の教育環境の変化に配慮しながら令和5年度末で廃止して村松幼稚園へ統合。
- ▽石神幼稚園…在園児の教育環境の変化に配慮しながら令和7年度末で廃止して村松幼稚園へ統合。

村立幼稚園の再編スケジュール

村立幼稚園の再編に向けて右表のとおり、段階的に統合します。

	再編後の幼稚園			
現在～令和6年3月31日	村松幼稚園	石神幼稚園	舟石川幼稚園	須和間幼稚園
令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	村松幼稚園	石神幼稚園	—	—
令和8年4月1日～	村松幼稚園	—	—	—

再編に向けた今後の対応

村立幼稚園を再編し、村松幼稚園へ統合するに当たり、次のとおり協議の場・機会を設けます。なお、会議での検討状況については、村公式ホームページ等で会議録を公表し、随時お知らせします。

【(仮称)村立幼稚園再編に向けた検討会議】の設置

構成▼各幼稚園の保護者代表、地域の代表者、各幼稚園の教諭、子育て支援課職員ほか

設置時期▼11月下旬ごろ

主な協議事項▼

- ▽村松幼稚園周辺の安全対策、登降園時の交通手段(園バスの配車)・駐車場の確保
- ▽これまで各園で取り組んできた事業、地域との交流活動や自然を生かした体験活動等の継承
- ▽就学に向けた各入学先小学校との幼小連携

【(仮称)村立幼稚園職員ワーキング・チーム会議】の設置

構成▼各幼稚園の園長・主幹教諭、子育て支援課職員、教育委員会指導室職員ほか

設置時期▼11月下旬ごろ

主な協議事項▼

- ▽「検討会議」での協議事項の具体的な検討
- ▽複数学級でのクラス運営、幼稚園の統合に向けた園児の受け入れ・職員体制の整備、職員研修の実施
- ▽教育・保育時間の拡充(登園開始時間、預かり保育時間)
- ▽お弁当の提供または小学校での給食交流の実施

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



「あなたなら大丈夫」と
信じて接することで、
子どもたちは花開きます

私は現在、けやきの杜保育所で1歳児の担任をしています。クラスの子どもたちは歩き始めたり、しゃべり始めたりする時期で、成長する姿を毎日間近で感じるのができ、楽しく過ごしています。「子どもが好き」「子どもたちを輝かせたい」という気持ちを原点に仕事をしてきましたが、もう一つ自分の役割だと感じていることがあります。それは「保護者の力になること」です。私は母として2人の息子を育てています。家庭と仕事の両立は大変なこともありますが、息子を保育園に預け始めてからは担任の先生に悩みを聞いてもらったり、成長している姿を教えてもらったり…。私も子育てに対して、

先生たちに助けられた一人であるため、自分が子育てを経験してからは、子どもだけでなく保護者の力にもなりたいと強く思うようになりました。悩みを聞いたり、一緒に考えたりしながら子育てについて話す時間は、自分の学びにもつながっています。保育の仕事は結果がすぐに現れるものではありません。自分の関わりが子どもたちにどう影響しているのか、すぐには分からない中で、私は子どもを信じることが大切だと思っています。今はできないことがあっても「あなたなら大丈夫」と信じて関わっていくと必ず花開く時がきます。当保育所の保育目標に「輝く未来を自ら切り開く力の基礎を培う」という言葉があります。この目標に向けて職員全員が同じ気持ちで保育をし、保育所から巣立っていく子どもたちが、新しいステージでさらに花開くことを楽しみにしています。

今現在、人工知能の技術が進化していますが、どんなに進化しても保育は機械には代えられません。人と人の思いが通じ合うこの仕事に真剣に向き合い、子どもや保護者が安心できて笑顔になれる場を一緒につくっていきませんか。

田仲裕子 副主任保育士